

## 「情報公開文書」

研究課題名：「脳卒中急性期患者の作業療法における Assessment of Motor and Process Skill 活用に関する調査」

### 1. 研究の対象

2019年1月から2019年12月までの間に、星総合病院脳神経外科に入院しリハビリテーション処方を受け、作業療法を実施した脳卒中患者のうち、AMPS 認定評価者が担当した患者83名。

### 2. 研究期間

2020年1月（倫理委員会承認後）から2021年12月

### 3. 研究目的

脳卒中治療ガイドラインにおいて、急性発症患者に対する早期リハビリテーションの重要性が示されています。また、発症早期より在宅生活を見据えたADL/IADLに対するリハビリテーションを行うことは、患者様本人の主体的な取り組みを促し、入院期間の短縮につながると言われています。このADL/IADLに対する作業療法において、患者様のニーズに立脚したAssessment of Motor and Process Skill（以下、AMPS）という評価法があります。脳卒中急性期の作業療法では疾患に着目した介入や関わりが重視されていますが、AMPSを用いて患者様のニーズに立脚した介入を行うことは、より主体的な取り組みを促すことが期待できると考えます。しかし、脳卒中急性期の作業療法において、AMPSを活用している患者様の特性や評価結果等についてはこれまで明らかにされていません。

本研究の目的は、AMPSを活用して作業療法を実施した脳卒中急性期患者の身体機能や知的機能、日常生活活動能力等を把握し、今後の脳卒中急性期のADL/IADLに対する作業療法におけるAMPSの効果的活用について検討することです。

### 4. 研究方法

研究対象となる患者様の基本的属性や身体機能や知的機能、日常生活活動能力等のデータを後方視的に調査します。データを統計解析しAMPSを活用している患者様の特性や評価結果等を調査し、その傾向を明らかにします。

### 5. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、診断名、家族構成、在院日数、転帰先、要介護度、病前ADL、意識レベル、リハビリテーション記録及び評価結果等

## 6. 外部への資料・情報の提供

研究対象となる患者様の情報は全て星総合病院にて収集します。収集したデータはコード化され、匿名化が完了した状態でCD(またはDVD)に記録した上で星総合病院リハビリテーション科の鍵のかかるロッカー等で保管するため外部の持ち出しは行わずに実施されます。

## 7. 研究組織

- ・公益財団法人 星総合病院  
二瓶 健司 (研究責任者)、根本恵里 (主任研究者)、松本大典 (分担研究者)
- ・福島県立医科大学新医療系学部設置準備室  
五百川 和明 (分担研究者)

## 8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で研究計画書及び関連試料を閲覧することができますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

### ○照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先

住 所：〒963-8501 福島県郡山市向河原町 159-1

機関名：公益財団法人 星総合病院

電 話：022-983-5511

担当者の所属・氏名：リハビリテーション科 根本 恵里